

2019年1月 園だより

あけましておめでとうございます！

～新しい年を迎えました。幸せな暮らしは平和な未来があつてこそ。

大人たちは手を取りあつて今年も進みましょう。～

12月中旬からインフルエンザが流行し始め、職員と子どもたちで行う年の暮れの「餅つき」は見送ることにしました。どんぐり保育園の子どもたちをはじめ、みんなに幸せが訪れるように歳神様を迎える鏡餅は、餅つき機で作し、玄関や部屋に飾りました。幼児クラスはつきたての餅を少しずついただきました。

さて、新年を迎えるにあたり、❀父母と職員が互いに心を寄せ合い、信頼し合い、力を合わせながら子どもたちの育ちを支えていけますように！❀子どもたちが健やかに大きくなりますように！❀大人たちも健康で過ごせますように！ 保育内容においては、今年も職員一同研鑽を積み、よりよい保育をめざしていきます。保育園という「学びの場」で、「仲間とのかけがえのない時間」を過ごす子どもたちが共に育ちあう過程を、応援していきましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（園長：小西、主幹：宇佐美）

緑の丘福祉会に仲間の園がふえます！新園建設準備中「ののかぜ保育園」！！

昨年の今頃は、「保育所誕生50周年・緑の丘福祉会法人設立40周年」の記念事業準備の追い込み期でした。緑の丘福祉会どんぐり保育園は、働き学ぶ父母のために、産休明け保育、障がい児保育、延長保育を実施し、保育運動を進め制度化へとつなげてきました。そして、子どもを真ん中に、親と職員が子どもの成長を喜び合い、子どもとともに大人自身も成長していく「共育で共育ち」の精神を共同保育所時代から引き継いできました。記念事業は、～ひろがれ えがお 未来にむかって～をテーマに、その精神や、保育園の財産である「施設」「保育」「給食」、そして「平和な未来」を今後も守っていきたい、という願いもこめられていました。

記念事業が成功に終わった2月の末に、平和公園に保育園を新たに設置するという、名古屋市からの突然の通達がありました。急ピッチで議論が詰められ、公募に応募する判断がされ、緑の丘福祉会が選定されることになりました。待機児が今なお減らない現状の中で、法人の理念や、緑の丘福祉会の保育観が詰まった就学前までの一貫保育が実現できること、仲間の園が増えることは、今後の法人にとって大きな強みです。

2019年度4月開園に向けて、この1年準備を進めてきました。12月に基礎工事が終わり、施設建設の着工が始まりました。開園にあたり、職員採用も十数名に及びました。保育士不足といわれる時代、正規職員を定数集めることができました。2019年度は人事が大きく動くこととなりますが、どの職場においても職員一同自己研鑽を積み、よりよい保育を目指していきます。

子どもたちの楽しいうたごえ響け 異年齢で楽しむ「わらべうた」

乳児期からリズム運動と合わせて「わらべうた」に親しんでいる子どもたちです。生活のさまざまな場面でわらべうたは歌われます。夕方のひと時、2階フロアーに各クラスから集まってきた子どもたちは「♪ひとつひよこがかごの中だいろくねんね～」と、絵カードを見ながら「ねー」と心地よく歌ったり、「♪おすわりやーす椅子どっせ」と保育士が投げ出した足に3人ほど子どもが乗ってゆさぶり遊びをしてもらいます。「♪にゅうめんそうめん～」とくすぐりを期待して腕を出すあそびもあります。ホールからは「♪かーってうれしい花いちもんめ～」と、前に進んだり、後ろに進んだりして、友だちの名前を呼んだり、自分の名前が呼ばれるのを照れながら、でも喜んで楽しんでいる声が聞こえてきます。「♪なべなべそ～こ抜け～」は、くると回って背中合わせになり、見えない自分の背中を意識しながら、体の位置関係や動き方を知り、うまくいったときは成功感を味わっています。触れ合う中で人への信頼関係を育み、触覚や平衡感覚や運動感覚を育ててくれる「わらべうた」は、異年齢の中でどの子も楽しめるあそびとしてどんぐり保育園に根付いていってほしいです。